

学科 学年	E 3 S 3 C 3	科目 分類	体 育 (剣 道) Physical Education	実技 必修	H 1 7 後期 1 単 位	学 習 教 育 目 標 E	担 当	鈴木みち代
概 要	剣道の授業を通じて、正しい基本姿勢と理にかなった剣道の技能を向上させるとともに、剣道に必要な諸作法を正しく身につけさせる。そして旺盛な気力、的確な判断力、決断力や集中力を養い、真剣且つまじめに取り組む姿勢を養成する。また、自他の健康管理、禁止事項の厳守、服装や用具の安全などに対する態度を養い、さらに我が国特有の伝統的な剣道を現代において正しくとらえ、将来に正しく伝達させることを目的とする。							
科目目標 (到達目標)	正しい基本の打ち方を体得させる。 自分たちで試合ができるようにする。							
教科書 器材等	剣道着、防具、竹刀							
評価の基準と 方法	授業への積極姿勢を 7 0 %、実技試験を 3 0 %。6 0 点以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
第 1 回 ガイダンス 第 2 回 剣道について説明、足運び、座礼、正座、剣道着・竹刀の注文 第 3 回 剣道着の着用、基本動作 第 4 回 胴・垂着用、基本動作、連続打ち 第 5 回 小手・胴・垂着用、基本動作、連続打ち 第 6 回 面・小手・胴・垂着用、基本稽古 第 7 回 基本稽古（切り返し、面・小手・胴、連続打ち） 第 8 回 基本稽古・技の稽古（応じ技、引き技） 第 9 回 基本稽古・技の稽古 第 10 回 基本稽古・地稽古 第 11 回 基本稽古・地稽古・試合（個人） 第 12 回 地稽古・試合（個人） 第 13 回 地稽古・試合（団体戦） 第 14 回 地稽古・試合（団体戦） 第 15 回 実技試験（切り返し、面・小手・胴連続技、礼法）防具干し、棚の清掃、袴返却 第 16 回 第 17 回 第 18 回 第 19 回 第 20 回 第 21 回 第 22 回 第 23 回 第 24 回 第 25 回 第 26 回 第 27 回 第 28 回 第 29 回 第 30 回								
オフィス アワー	授業の前後に質問等に対応することができる。							
備 考								